

第17回
鶴岡市芸術祭

令和4年度県民芸術祭協賛



9月
▼
12月

第17回 鶴岡市芸術祭閉幕式典・記念公演【芸術文化でつむぐ鶴岡物語～創る～】

●日 時 令和4年9月4日(日) ●開幕式典 13:30～13:45(開場13:00)
●会 場 荘銀タクト鶴岡 大ホール ●記念公演 14:00～15:30【伝統芸能・民衆・演劇・洋舞・洋楽】
●入 場 料 500円(高校生以下無料) ●展 示 エントランスホール【写真・書画・スタンドグラス・筆画】

主催 特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会、鶴岡市教育委員会
後援 秋田県庁、秋田県工業課所、荘内日報社、山形新聞、山形放送、鶴岡市山形放送局、毎日鶴岡山形支局、読売新聞山形支局、河北新報社、NHK山形放送局、山形テレビ、テレビユー山形、さくらテレビ

第17回鶴岡市芸術祭閉幕のつどい

*** 次 第 ***

開 会
芸術祭賞授与
主催者あいさつ
祝 辞
来賓紹介
受賞者代表あいさつ
芸術祭賞受賞記念公演
乾 杯
祝賀交流パーティー
閉 会

と き 令和4年12月24日(土) 午後3時

と ころ 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間

第17回鶴岡市芸術祭賞

大賞 みんなの音楽会 鶴岡放送児童合唱団定期演奏会

日時 11月3日(木・祝) 会場 鶴岡市中央公民館
主催 鶴岡放送児童合唱団 代表 伴 和香子

コロナの影響を受けながらも一生懸命練習に取り組んだ、団員の熱意が伝わる素晴らしい演奏会であった。作曲家信長貴富先生の委嘱作品全4曲の初演披露で、子どもたちの生きいきとした美しい歌声がホールに響き渡り、平和を願うオリジナル音楽劇の熱演とともに、レベルの高さも見事と言える舞台であった。音楽文化を支える小さな子ども達の大きな力に、感謝の拍手を送り讃えたい。

準大賞 第60回鶴岡市合同短歌会

日時 10月6日(木) 会場 鶴岡市中央公民館
主催 鶴岡市合同短歌会実行委員会 担当 市川 照夫(きたぐに短歌会)

第60回の節目にあたり、会員一同の熱気が感じられ、講師の方の丁寧な指導と適確な批評の功もあり、大変盛り上がった歌会でした。初めての企画として、歌人「斎藤茂吉翁」の一生を琵琶語りで演じるなど工夫を凝らした構成も良かった。会員相互の「繋」を大切にしながら、自信と誇りを持って生涯短歌を愛し続け、文化のまち鶴岡の一端を担う気概を示す歴史の重厚さを感じる短歌会であった。

【芸術祭参加公演順】

優秀賞 如月会水墨画展

日時 10月20日(木)～10月23日(日) 会場 鶴岡市中央公民館
主催 如月会 代表 梅本 幸仙

水墨画の色紙から屏風まで50数点の展示。四季折々の庄内の風景と山水、花鳥等を水墨画独特の濃淡・ぼかしの古典的な技法で表現された多様な作品がバランスよく展示され、見る人を楽しませてくれました。特に全国水墨画展入選作品は迫力があり素晴らしい。東洋画と西洋画が融合した表現に、今後の新たな発展を期待したい。

優秀賞 ステンドグラス“光彩”作品展

日時 10月22日(土)・23日(日) 会場 鶴岡アートフォーラム
主催 ステンドグラス“光彩” 代表 布川 美與子

芸術祭初参加の団体であるが、開催期間中の入場者も大変多く、ファンタジックな美しい世界を人々が待ち望んでいたことを感じさせる作品展であった。作品点数が多いなかで、展示構成・内容にも工夫がみられ照明による演出も良かった。従来のヨーロッパの大聖堂にみられるステンドグラスのイメージから、私たちの身近な生活空間を彩るものとして認識を深めてくれた。

優秀賞 宝生流観世流合同謡曲大会

日時 11月13日(日) 会場 東田川文化記念館明治ホール
主催 宝生流鶴岡五雲会 庄内謡曲愛好会 担当 相馬 一廣
(庄内謡曲愛好会)

能楽の伝統を継承し、鶴岡五雲会の素謡・鞍馬天狗・竹生島・連調、羽黒水謡会の加茂・仕舞に合わせ笛・大鼓・小鼓等が加わり賑やかな舞台となった。特に大鼓の音色や謡、動作には長年の精進によって磨かれた気韻や風格が感じられ、精神性の高い見事な公演であった。今後、能楽を広く知ってもらうための手立てを工夫しつつ、一層の取り組みの強化を期待したい。